

兵庫津地域と近代神戸

大阪歴史学会では、実際に文化財を訪ね、その最新の研究成果にふれるため、市民参加型の催し「現地見学検討会」を毎年開催しています。今回は、近代の兵庫津地域を取り上げます。近世の物流拠点として隆盛を極めた兵庫津は、近代には港湾機能とともに生産機能も加えるようになります。近代初期に兵庫地域が果たした役割や、兵庫と神戸との関係性から浮かび上がる日本近代の都市像について考えます。

開催日 2025年4月20日(日)

現地見学

9:30 神戸市営地下鉄
和田岬駅集合

- ・和田旋回橋
- ・清盛塚
- ・大輪田泊調査地点
- ・初代県庁の石碑
- ・大輪田橋
- ・戦災殉難者慰霊碑
- ・兵庫津ミュージアム

検討会

13:00～17:00(開場は12時30分)

神戸市立兵庫区文化センター 講習室

- ・吉原大志氏(兵庫県立歴史博物館)
「兵庫地域の都市開発と近代神戸」
- ・三木理史氏(奈良大学)
「近代神戸と兵庫の鉄道計画」
- ・野田優人氏(兵庫県教育委員会)
「近年の調査成果から見る兵庫津遺跡の時代的変遷」
- ・討論

- ・少雨決行
- ・定員50名(先着順、事前申込不要)
- ・問い合わせ:大阪歴史学会 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp/>